

## 指定管理者モニタリングレポート（平成28年度）

作成日 平成29年6月30日

施設名	みのかも健康の森	
所在地	美濃加茂市山之上町7559番地	
指定管理者	名称 可茂森林組合 代表者 代表理事組合長 可児 登 住所 加茂郡七宗町神淵9756番地1	
指定期間・選定方法	H28. 4. 1～H33. 3. 31	<del>公募</del> 任意指定
モニタリングの実施方法等	<input type="checkbox"/> 運営経費の支出状況や収入状況、金銭管理等の確認 <input type="checkbox"/> 管理運営の手法や運営理念の確認 <input type="checkbox"/> 現地事務所にて帳簿確認や聴き取りにより実施	
所管課 (問合せ先)	産業振興部 農林課	

## モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

- 管理棟内に薪ストーブを設置し、園内整備で発生した伐木を燃料として活用することで経費を削減、また、薪ストーブを活用し食堂のメニューを増やすなど集客増につなげた。
- 繁忙期と閑散期の収益の差が大きいため、閑散期等の集客対策として、今後閑散期に、薪ストーブを活用したイベントを計画する予定。
- 今後、炭焼き小屋の新設に伴い、園内BBQ用の炭以外にも炭を制作し販売をする、薪を制作し販売量を増加させるなど、今後の収益施策が必要である。
- 遊具をはじめ施設の老朽化が進んでおり改修の必要がある。管理者には利用者に事故が無いよう、日常のメンテナンスで可能な範囲の対応が必要である。利用に危険が伴う施設は修繕等行うまで使用禁止にする等の暫定的な対応をすること。

## 経営分析に関すること

- 来園者数は、昨年度を5,275人上回る結果となり、食堂の売り上げが前年対比103.2%になったが、BBQ利用数が9月の天候不順が大きく影響し利用者が大幅に減少した。天候に左右されないよう、年度末にBBQ施設の雨風避けシートを改修したことで、今後の利用者の変動が少なくなると見込まれるため、周知が必要である。
- 市内の住民だけでなく市外や県外からの来園者も多いため、今後地域の野菜や梨などの物販などを計画することで自主収益を増加させることに併せ、地域住民との連携を図れるよう働きかけることも必要だと思われる。
- 施設や屋外の木製施設の老朽化が進んでいるため、計画的な改修等が必要である。
- 食堂やBBQの売り上げだけでなく薪や炭などの販売量の増加も検討する必要がある。

### 事業計画・実施事業に関すること

- 事業計画については、前年度の事業状況の反省点を考慮し改善されている。
- 行事終了後には、関係者と事業実施において気が付いた点、改善した方がいい点などを洗い出し、翌年度の開催に向けよりよい事業を実施できるよう心掛けている。
- BBQ 施設で使用する炭、薪ストーブには、園内や市内で伐採された不用木や間伐材を使用するなど、経費の削減に努めるとともに環境にも配慮している。

### 経理に関すること

- 支払いは月末締めで 15 日支払いとなっており、農協と十六銀行に口座を設けることにより、支払手数料に応じて(支払先の取引銀行)支払い口座を使い分けている。
- 収入については、毎日農協が来園し入金、必要に応じて十六銀行へ振替えている。
- 簿記に精通したものが経理を担当しており、帳簿等が適正に管理されている。
- 支出は、請求書とともに支出命令票を作成し、園長及び森林組合が確認している。
- 金庫・レジの現金・鍵の管理は、適正に行われている。

### 施設管理に関すること

- 施設内の日々の見回りにより常時遊具等の状況を把握し、必要に応じてその都度整備・修繕を行っている。また、緊急の場合には即時に市担当者に連絡している。
- 施設の鍵は、複数の者が所持することにより、緊急時に対応できるよう配慮している。
- 閉園時の駐車場利用者への対応は、園内放送・検索を行い、所有者が現れない場合は、連絡先を明記した貼り紙をする。BBQ 利用者が車を置いて帰宅する場合は、連絡をするよう受付時に注意事項を配布している。
- 消防訓練・避難訓練・救命講習を実施し、利用者の安全確保を目指している。

### サービスに関すること

- 利用者の立場に立った細やかな心遣いを心がけている。
- 来園者に事故があった場合などは、状況を的確に判断し誠実に対応している。対応後には市へ事故報告を書面で報告している。
- 苦情等の処理について、園内で処理できない場合、組合・市に相談し対処している。
- アンケート用紙を常置し、提出された内容の集計を定期的に行い、その内容を職員に周知することによりサービスの向上に努めている。

### その他に関すること

- 施設の入口付近の竹林を、作業員、地域住民と共に竹の伐採をし、環境整備に努めた。
- 行事等の情報発信は、HP への掲載、農林課から広報・記者クラブへの情報提供、管理棟内の掲示板で毎月の行事の PR 等を行っている。
- 個人情報、BBQ・森の家・ファミリーゴルフの予約表で取り扱っており、予約表には苗字と連絡先等必要最低限の事項を記入するのみとするなどの配慮をしている。
- 環境に配慮した取り組みとして、ゴミの持ち帰りのお願い、施設補修や炭、薪作りに間伐材の利用などを行っている。

## 指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(平成28年度)

総合評価	A
------	---

実施日 平成29年6月30日

所管課 農林課

対象施設	みのかも健康の森	選定方法	公募・任意指定
設置目的	自然を身近に感じることができる森林公園として設置		
指定管理者名	可茂森林組合	指定期間	H28.4.1～H33.3.31

総括	A	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	評価
経営分析	事業収支	428千円	210千円	726千円	537千円	1,116千円	A
	利用料金比率	20.9	21.01	22.12	20.74	20.25	B
	人件費比率	65.3	64.6	64.9	62.8	64.5	B
	外部委託費比率	0.83	0.46	0.47	0.52	0.53	B
	利用者当たりの管理コスト	436.1	432.5	406.2	450.1	403.4	A
	利用者当たりの市負担コスト	194.5	185.0	178.7	198.1	186.2	A
	施設㎡当たりの利用者数	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	A

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

実施事業に関すること	総括	A	一次評価	評価理由等
1	事業計画に基づき施設の設置目的に沿った事業を実施したか	B	事業計画、設置目的に沿った事業である	
2	収支計画との整合性はあったか	B	適正な収支計画である	
3	開館時間、休館日は適正に守られていたか	A	適正に実行されている	
4	施設職員体制が適正に整えられていたか	A	シフト管理され適正である	
5	公共性・公平性が保たれていたか	A	特例がなく公共性・公平性が保たれている	
6	改善指示事項や要望が事業に反映されていたか	B	利用者にアンケート調査を行い、可能な事業から反映されている	
7	自主事業は適正に実施されていたか	A	新たな自主事業も企画され実施している	

経理に関すること	総括	A	一次評価	評価理由等
1	管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか	A	開設しており、毎日銀行の訪問がある	
2	協定に基づいた支出が適正に行われたか	A	適正に行われている	
3	支出に関する帳簿が適正に記載・管理されていたか	A	帳簿が備えられている	
4	帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか	A	記載・管理されている	
5	現金は適正に管理されていたか	B	毎日銀行の訪問がある	

施設管理に関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			A	職員による目視、専門業者による検査が行われている
2	清掃は確実に行われたか			B	毎日行われている
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			A	事務所に管理されている
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			A	緊急連絡網が整備されている
5	避難経路の安全性は確保されていたか			A	備品等が放置されていない・避難訓練も行われている
6	備品は適切に管理されていたか			B	適切に管理されている
7	駐車場の保全・管理は適切に行われていたか			A	毎日の見回り及び監視カメラによる管理も行っている

サービスに関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的なサービス向上に取り組んだか			A	季節ごとに利用時間は変更している 夜間開放に向けて検討している
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			A	即日対応できるようにしている
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			A	経過も記入され、整備されている
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			C	HPの更新がされていない箇所がある
5	セルフ・モニタリングは適正に行われたか			B	アンケート調査を行っている
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			A	改良可能な場合においては対応している また老朽化した遊具については市に依頼している
7	接客態度向上のための取り組みを実施したか。接客態度に問題はなかったか			A	接客対応については問題ない

その他に関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	情報公開は適正に行われたか			B	広報、CATV を活用し情報発信は行われている
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			A	適正に管理され目的外には利用されていない
3	環境に配慮した事業を推進したか			A	管理棟の暖房は整備で発生した薪を活用している
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			A	加入している
5	地域との協働は図られたか			A	地域住民との整備事業等を実施している
6	市と連絡を密にしていたか			A	市との連絡体制は取れている

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要と評価できる。
◆利用料金比率	利用料金収入／収入	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率	人件費／支出	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎているかを評価できる。
◆外部委託比率	外部委託費合計／支出	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎているかを評価できる。
◆利用者当たりの管理コスト	支出／延利用者数	1人当たりの利用者に対するコストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者当たりの市負担コスト	指定管理料／延利用者数	1人当たりの利用者に対する市負担コストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設㎡当たりの利用者数	延利用者数／延床面積	施設㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準におおむね達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めている C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めていない D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めていない C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

## 指定管理者管理運営状況調書

### 1. 指定管理者・施設の基本情報

平成 29 年 6 月 30 日

指定管理者名	可茂森林組合	所管課	農林課
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日	選定方法	公募・任意指定
施設名	みのかも健康の森	施設の種類	森林公園
所在地	美濃加茂市山之上町7559番地		
設置根拠条例等	美濃加茂市森林公園の設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	・保健、保全機能の発揮される森林の整備 ・市民の自然保護意識の高揚及び教育文化の向上		
実施事業	みのかも健康の森の運営、管理		

### 2. 施設の概要

土地	敷地面積	1,069,268 m <sup>2</sup>		駐車場台数	300 台			
	内借地面積	1,013,947 m <sup>2</sup>	契約期間	30 年	借地料	950,000 円		
建物	設置形態	市所有 賃貸借	契約期間			賃借料		
	建物の内容	管理棟、バーベキュー広場、777階段、ファミリーゴルフ場、アスレチック 等						
	主要な建物の建築年月	平成6年3月		取得時期				
	延床面積	1,061.56 m <sup>2</sup>	構造	S造	階数	1階		
	耐震基準	新耐震基準	耐震診断	不要	耐震補強	不要	ls値	
	バリアフリー化状況	実施 ＝部実施 未実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者用トイレ	その他
			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
大規模修繕実施状況								
留意事項								

### 3. 管理・運営の現況

開館日数	306 日	休館日	毎週水曜日	開館時間	9:00～17:00 (9:00～16:00)
職員数等管理体制	可茂森林組合:嘱託職員4人、作業員6人、臨時職員5人 計15人 美濃加茂市:担当職員(兼務)1人				

#### 4. 施設の維持管理コスト等

		(単位:千円)	28年度	27年度	26年度	25年度	指定管理導入前
市の収支状況	支出	支出総額	34,515	31,591	33,273	22,659	—
		人件費	392	392	392	392	—
		維持補修費	19,118	16,369	18,616	8,368	—
		減価償却費	0	0	0	0	—
		光熱水費	0	0	0	0	—
		委託費・指定管理料	14,055	13,880	13,315	12,949	—
		賃借料	950	950	950	950	—
		その他	0	0	0	0	—
	収入	収入合計	0	0	0	0	—
		使用料・手数料					—
その他業務収益						—	
業務関連収益						—	
		(単位:千円)	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
指定管理者の収支状況	支出	支出合計	28,417	29,328	28,524	28,517	27,359
		人件費	18,330	18,429	18,518	18,421	17,864
		事業費	7,301	7,901	7,065	7,298	6,601
		維持補修費	235	127	42	91	170
		光熱水費	2,399	2,719	2,763	2,574	2,496
		保守点検費	152	152	136	133	228
		その他	0	0	0	0	0
	収入	収入合計	29,533	29,865	29,250	28,729	27,786
		指定管理料	13,114	12,909	12,550	12,202	12,202
		利用料金	5,981	6,195	6,470	6,038	5,830
自主事業収入		10,415	10,737	10,201	10,477	9,574	
その他		23	24	29	12	180	

#### 5. 施設の利用状況

		28年度	27年度	26年度	25年度	指定管理導入前		
開館日数		306	306	305	303	—		
利用件数		203	291	211	158	—		
利用者数		7,136	9,728	11,380	8,975	—		
定員		70,439	65,164	70,218	65,944	—		
部 屋 別 稼 働 率	名称	森の家			平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	38.6%
	名称				平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%
	名称				平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%

## 6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	山の日イベント	利用者数等	560人
	事業内容	木工教室、チェーンソーアート、餅つき 等		
	事業名	あじさいまつり	利用者数等	1,000人
	事業内容	あじさい苗配布、写真撮影会 等		
	事業名	夏休み親子木工教室	利用者数等	27人
	事業内容	親子木工教室		
	事業名	鯉のぼり掲揚	利用者数等	—
	事業内容	園内全体に鯉のぼりを設置(4月～5月中旬)		
	事業名	花飾り教室	利用者数等	49人
	事業内容	申込者に花飾りの教室を開催		
	事業名	年越しそば打ち体験	利用者数等	6人
	事業内容	申込者にそば打ち教室を開催		
特記事項	その他、協力行事も多数あり			

## 7. 指定管理者制度導入前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	指定管理前は処分していた園内整備後の伐木を、薪として販売しているが、可茂森林組合のエリアの薪購入の住民に対して薪の無料配達を行っている。
コスト面	園内整備後の伐木を活用した薪を販売、管理棟内の薪ストーブに活用、園内 BBQ 施設で使用する炭についても園内の炭焼き小屋において製作し、処分経費の削減を行っている。
利用者数・稼働率	指定管理前は不明だが、近年の利用者数は上昇している。
事業実施状況	季節ごとに自主事業を計画し集客に努めている。
地域との協働等	市子協のイベントをはじめ、ウォークみのかもの会場活用、市内の森林整備を行っている団体と共同で園内整備を行っている。
その他	



## 指定管理者モニタリングレポート（平成28年度）

作成日 29年 6月 28日

施設名	太田宿中山道会館	
所在地	美濃加茂市太田本町 3 丁目 3-31	
指定管理者	名称 特定非営利活動法人宿木 代表者 理事長 佐光 重廣 住所 美濃加茂市太田本町 3 丁目 3-31	
指定期間・選定方法	平成 26 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日	任意指定
モニタリングの実施方法等	期初・中間・期末各モニタリングについて、太田宿中山道会館において理事長、理事及び事務局長と面談の上実施	
所管課 (問合せ先)	産業振興課（営業戦略係 内線257）	

## モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

定期的なイベント開催や市民団体及び地域との連携による積極的な施設運営がなされており、今年度の来館者数は平成 26 年度以来 2 回目の 10 万人超えで 29 年度には来館者 100 万人達成が確実視されるなど、設置から 10 年を過ぎてなお安定した来館者数を確保している。

お休み処やどりぎにおける飲食や地元野菜の販売などは、観光客のみならず地元住民にも多く利用されており、観光拠点と地域のコミュニティを兼ね備えた役割を果たしている。

一方、運営に携わる理事が固定化していてイベントや展示の内容が定型的になっていることや、職員の高齢化に対応するための新たな職員の確保等について、中長期的な視点で改善を図っていく必要がある。

## 経営分析に関すること

事業収支は、収益事業会計からの繰入が例年どおり行われ、なおかつそれを除いても黒字を計上するなど引き続き安定した運営がなされている。

しかし、支出の内訳を見ると、人件費及び施設管理費の合計が指定管理料を 80 万円弱上回っており、昨年度より固定経費の支出が増加傾向にある。これは、最低賃金が毎年増額されるなどの社会的要因により、人件費や清掃委託費などが増加していることが主な原因と思われるため、適切な指定管理料の積算により対応する必要がある。

人件費比率や外部委託比率については、概ね横ばいで安定しているものの、人件費比率は過去 5 年で最高となっている。しかし、雇用情勢が売り手市場となる中で、適切な人件費の支出は職員の確保のためには今後さらに重要になるものと思われる。

### 事業計画・実施事業に関すること

春のまつり、宵まつり、盆おどり大会など、定例的なイベント開催に加え、市民団体の活動紹介の場にもなる展示イベントや、参加型の体験教室、お茶の間ゼミナールなど、多様な事業展開により施設利用を促進し来館者の確保につなげている。

また、地域や市民団体主催のイベントにも積極的に連携し、中山道全体のにぎわいの創出にも寄与している。

### 経理に関すること

日報により売上等の管理が毎日なされており、口座も会計別・目的別に設けられているため、金銭の動きが明確になっていて、現金の管理も含めて適切に実施されている。

### 施設管理に関すること

保守点検のうちシャッターのみ未実施であったこと、また消防署に提出した防火計画書に記載のとおり各種訓練が実施されていなかったことについて、適切に実施するよう指導した。

施設及び備品の老朽化が進んでいるため、長寿命化を前提としたメンテナンスを早期に実施するとともに、故障が運営に大きく影響する厨房機器等については、更新時期を早期に把握するため軽微な修繕等の情報も市と共有していく必要がある。

### サービスに関すること

定められた休館日、開館時間を順守しつつ、団体ツアー客等の要望に応じて臨時的な開館を行うなど、観光拠点として十分なサービスを提供している。

展示や飲食等についても、アンケートの内容を理事会で共有し、事務所や厨房に掲示して職員に周知するなど、サービスの向上を意識したセルフモニタリングが適切に実施されている。

ホームページについては、新しいイベントの情報は随時掲載されるものの、すでに終了した企画等の情報が残ったままのため、順次削除するよう指導した。

### その他に関すること

災害発生時に使用する職員及び来館者用の防災ヘルメットが配置されていないため、購入及び置き場について市と協議の上対応することとした。

## 指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(平成28年度)

総合評価	B
------	---

実施日 29年 6月 27日  
所管課 産業振興課

対象施設	太田宿中山道会館	選定方法	公募・任意指定
設置目的	観光情報等の発信と地域交流推進の拠点		
指定管理者名	特定非営利活動法人宿木	指定期間	平成26年度～平成30年度

総括	B	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	評価
経営分析	事業収支	2,767,908	2,342,458	2,852,821	3,724,233	2,480,215	B
	利用料金比率	-----	-----	-----	-----	-----	
	人件費比率	43.38%	44.57%	43.47%	43.01%	45.42%	B
	外部委託費比率	12.06%	12.24%	12.02%	11.70%	11.87%	B
	利用者当たりの管理コスト	159	170	156	167	158	B
	利用者当たりの市負担コスト	116	128	130	135	128	A
	施設㎡当たりの利用者数	167	151	170	164	172	A

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

実施事業に関すること	総括	B	一次評価	評価理由等
1 事業計画に基づき施設の設置目的に沿った事業を実施したか			A	事業計画事業に加え、市民団体等が中山道で実施するイベント等に協力して施設の利用を促進している。
2 収支計画との整合性はあったか			B	概ね計画どおりの収入を確保し、支出も適切に行って安定した経営を行っている。
3 開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	原則として条例どおりに開館しながら、要望に応じた柔軟な対応を実施している。
4 施設職員体制が適正に整えられていたか			B	やや余裕がないものの、NPO全体でサポートして必要な人員を確保している。
5 公共性・公平性が保たれていたか			B	
6 改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			B	軽微事項について対応を確認した。
7 自主事業は適正に実施されていたか			B	

経理に関すること	総括	B	一次評価	評価理由等
1 管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	前年どおり会計別の口座で管理
2 協定に基づいた支出が適正に行われたか			B	
3 支出に関する帳簿が適正に記載・管理されていたか			B	勘定元帳、日報等を確認
4 帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか			B	事務局内で適正な記載管理を行っている。
5 現金は適正に管理されていたか			B	金庫で保管し、暗証番号は正職員2名のみで管理

施設管理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			C	シャッターの保守が年度内に実施されていなかった。
2	清掃は確実に行われたか			B	日常的な清掃に加え、委託による定期清掃を年2回実施
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			B	正職員2名のみで管理
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			B	緊急連絡網を確認
5	避難経路の安全性は確保されていたか			B	
6	備品は適切に管理されていたか			B	
7	駐車場の保全・管理は適切に行われていたか			B	会館前及びバス駐車場は閉館時に閉鎖して適切に管理している。

サービスに関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的なサービス向上に取り組んだか			A	ツアーに対応した休館日の臨時開館や開館時間延長などを実施している。
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			B	
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			B	日報に適切に記録されている。
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			B	新たな情報は適時掲載されているが、不要となった古い情報が一部残ったままである。
5	セルフ・モニタリングは適正に行われたか			A	食堂内でアンケートを実施しており、回答者に抽選で食事券を送るなど回答件数を増やす取り組みを行っている。
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			B	アンケートの意見を集約して職員向けに貼りだし、周知することでサービス向上に努めている。
7	接客態度向上のための取り組みを実施したか。接客態度に問題はなかったか			B	

その他に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	情報公開は適正に行われたか			B	
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			B	職員の個人番号(写し)は金庫で保管している。
3	環境に配慮した事業を推進したか			B	食堂から出る生ごみ対応でコンポストを設置している。
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			B	
5	地域との協働は図られたか			A	中山道界隈の市民団体や御代桜、姫biz等と連携した事業が実施されている。
6	市と連絡を密にしていたか			A	行事の広報掲載、修繕の発生報告等、綿密な連絡や調整が実施されている。

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要と評価できる。
◆利用料金比率	利用料金収入／収入	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率	人件費／支出	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎているかを評価できる。
◆外部委託比率	外部委託費合計／支出	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎているかを評価できる。
◆利用者当たりの管理コスト	支出／延利用者数	1人当たりの利用者に対するコストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者当たりの市負担コスト	指定管理料／延利用者数	1人当たりの利用者に対する市負担コストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設㎡当たりの利用者数	延利用者数／延床面積	施設㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準におおむね達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めている C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めていない D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めていない C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

## 指定管理者管理運営状況調書

### 1. 指定管理者・施設の基本情報

平成29年6月27日

指定管理者名	特定非営利活動法人宿木	所管課	産業振興課
指定期間	H26.4.1～H31.3.31	選定方法	任意指定
施設名	太田宿中山道会館	施設の種類	観光施設
所在地	美濃加茂市太田本町 3 丁目 3-31		
設置根拠条例等	太田宿中山道会館の設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	観光情報等の発信と地域交流推進の拠点		
実施事業	太田宿中山道会館の運営		

### 2. 施設の概要

土地	敷地面積	3,745.76 m <sup>2</sup>		駐車場台数	20 台			
	内借地面積	— m <sup>2</sup>	契約期間	—	借地料	—		
建物	設置形態	市所有	契約期間	—	賃借料	—		
	建物の内容	事務室・物産販売・飲食コーナー・展示室・市民活動スペース等						
	主要な建物の建築年月	平成 18 年 3 月		取得時期	—			
	延床面積	865.98 m <sup>2</sup>		構造	木造		階数	2
	耐震基準	新基準	耐震診断	不要	耐震補強	不要	Is値	—
	バリアフリー化状況	実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者用トイレ	その他
			無	無	有	無	有	—
	大規模修繕実施状況							
留意事項								

### 3. 管理・運営の現況

開館日数	307日	休館日	月曜・年末年始	開館時間	9:00～17:00
職員数等管理体制	常勤2名 非常勤14名(うち厨房職員13名)				

#### 4. 施設の維持管理コスト等

		(単位:千円)	28年度	27年度	26年度	25年度	指定管理導入前
市の収支状況	支出	支出総額	16,591	14,648	14,780	13,759	
		人件費	1,575	1,575	1,575	1,575	
		維持補修費	1,964	73	205	751	
		減価償却費					
		光熱水費					
		委託費・指定管理料	13,000	13,000	13,000	11,433	
		賃借料					
	その他	52					
	収入	収入合計	0	0	0	0	
		使用料・手数料					
その他業務収益							
業務関連収益							
		(単位:千円)	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度
指定管理者の収支状況	支出	支出合計	16,010	16,104	15,664	15,091	15,604
		人件費	7,271	6,923	6,805	6,727	6,769
		事業費	1,706	2,433	1,850	1,883	2,190
		維持補修費	174	105	290	334	228
		光熱水費	2,218	2,296	2,631	2,400	2,261
		保守点検費	2,612	2,567	2,610	2,566	2,616
		その他	2,029	1,780	1,478	1,181	1,540
	収入	収入合計	18,490	19,828	18,517	17,433	18,372
		指定管理料	13,000	13,000	13,000	11,433	11,433
		利用料金	0	0	0	0	0
自主事業収入		619	900	832	867	858	
その他		4,871	5,928	4,685	5,133	6,081	

#### 5. 施設の利用状況

		28年度	27年度	26年度	25年度	指定管理導入前		
開館日数		307日	308日	308日	307日			
利用件数								
利用者数		101,388人	96,227人	100,212人	88,998人			
定員								
部 屋 別 稼 働 率	名称			平日	%	土日祝	%	
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%
	名称			平日	%	土日祝	%	
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%
	名称			平日	%	土日祝	%	
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%

## 6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	第 11 回春のまつり	利用者数等	約 1,500 人
	事業内容	平成 28 年 4 月 17 日開催 ステージイベント 4 種・体験コーナー 9 種・出店 8 店舗 15 ブース		
	事業名	中山道太田宿宵まつり	利用者数等	約 2,000 人
	事業内容	平成 28 年 7 月 23 日開催 ステージイベント 8 種・こども広場運営・出店 5 店舗 10 ブース		
	事業名	中山道太田宿盆おどり大会	利用者数等	約 3,000 人
	事業内容	平成 28 年 8 月 27 日、28 日開催 イベント 4 種・こども広場運営・出店 10 店舗 18 ブース		
	事業名	中山道まつり	利用者数等	約 25,000 人
	事業内容	平成 28 年 10 月 16 日開催 楽市楽座		
	事業名	展示イベント(計 7 回)	利用者数等	2,363 人
	事業内容	円空彫り展、花笑会生花展示会、秋の盆栽展等		
	事業名	お茶の間ゼミナール(計 6 回)	利用者数等	190 人
	事業内容	歩々是人生、省エネくらしカフェ、ファンタスティックマジック等		
特記事項	その他イベント 5 回、体験教室 6 回、各種展示開催			

## 7. 指定管理者制度導入前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	
コスト面	
利用者数・稼働率	
事業実施状況	
地域との協働等	
その他	



## 指定管理者モニタリングレポート（平成28年度）

作成日 平成29年6月15日

施設名	すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンター	
所在地	美濃加茂市新池町三丁目1736番地1	
指定管理者	名称 社会福祉法人 慈恵会 代表者 理事長 山田 實紘 住所 美濃加茂市下米田町東栃井81番地2	
指定期間・選定方法	平成28年4月1日～平成33年3月31日	公募・任意指定
モニタリングの実施方法等	指定管理者が、公の施設の設置目的を理解し、制度運営の透明性を確保しつつ、効果的かつ適正な管理運営を行い、良好なサービスの提供を行っているかを監視・監督し、次年度以降の業務内容等に反映させるために、指定管理者が提出した事業報告書等の資料と実地調査に基づき期末モニタリングを行う。	
所管課 (問合せ先)	健康福祉部介護保険課 電話0574-25-2111(内線509)	

## モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

介護保険法に基づく居宅要介護者等への通所介護及び高齢者の生きがい活動支援のため設置された美濃加茂市老人デイサービスセンターを、適正かつ円滑に管理し、利用者に対し、適切な通所介護サービスを提供していることが確認できた。

## 経営分析に関すること

事業収支は22,357千円であり、毎年安定して黒字収支となっている。利用料金比率は99.9%となっており、収入は、利用者の利用料金により賄われている。人件費比率は、79.9%で、支出に占める人件費の割合は比較的高い。

## 事業計画・実施事業に関すること

管理基本方針、組織・人員体制、個人情報管理、各年度の事業計画を作成され、計画に基づき、適正に事業が実施されている。

## 経理に関すること

経理は法人本部で処理がされている。また、公認会計士の監査も受けており、適正に執行管理されている。

## 施設管理に関すること

施設管理について、デイサービスセンター管理者が適正に管理している。  
また、市の総合福祉会館との併設施設となっており、電気・水道施設等は、市で施設管理を行っている。  
10万円以上の修繕については美濃加茂市、それより少額の細かな修繕については、指定管理者が行うこととしている。

## サービスに関すること

利用者一人ひとりのニーズを把握し、居宅サービス計画に基づいた通所介護計画の作成により、個別介護方針を確立し、各利用者にとって、より良い介護サービスの提供に努めている。  
年に1度、利用者アンケートを行うとともに、リスクマネジメント委員会や権利を守る委員会を法人として設置し、利用者保護にも努めている。

## その他に関すること

介護保険法に基づく職員配置基準を上回る職員数を配置している。また、職員研修についても、積極的に実施されている。

## 指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(平成28年度)

総合評価	A
------	---

実施日 平成29年 6月15日

所管課 介護保険課

対象施設	すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンター	選定方法	公募・任意指定
設置目的	居宅要介護者への通所介護及び高齢者の生きがい活動を支援するため		
指定管理者名	社会福祉法人 慈恵会	指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日

総括	A	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	評価
経営分析	事業収支	22,357千円	16,741千円	19,176千円	14,892千円	13,681千円	A
	利用料金比率	99.9%	100.0%	100.0%	99.7%	99.0%	A
	人件費比率	79.9%	80.1%	77.2%	76.7%	77.7%	A
	外部委託費比率	—	—	—	—	—	—
	利用者当たりの管理コスト	6,262円	6,477円	6,140円	6,701円	6,797円	A
	利用者当たりの市負担コスト	—	—	—	—	—	—
	施設㎡当たりの利用者数	20.68人	20.68人	19.80人	18.31人	18.16人	A

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

実施事業に関すること	総括	B	一次評価	評価理由等
1 事業計画に基づき施設の設置目的に沿った事業を実施したか			B	事業計画に基づき実施された
2 収支計画との整合性はあったか			B	おおむね計画通りであった
3 開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	守られていた
4 施設職員体制が適正に整えられていたか			A	基準以上に整えられていた
5 公共性・公平性が保たれていたか			A	十分に保たれていた
6 改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			A	要望以上に改善を行った
7 自主事業は適正に実施されていたか			B	おおむね適正に実施された

経理に関すること	総括	A	一次評価	評価理由等
1 管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	開設されていた
2 協定に基づいた支出が適正に行われたか			A	支出を抑えるよう努力されている
3 支出に関する帳簿が適正に記載・管理されていたか			A	十分な帳簿が整えられている
4 帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか			A	細かく管理されている
5 現金は適正に管理されていたか			A	安全に管理されている

施設管理に関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			B	おおむね適正に実施された
2	清掃は確実に行われたか			A	清潔に保たれていた
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			A	安全に配慮されていた
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			A	整えられていた
5	避難経路の安全性は確保されていたか			A	危険のない様に片づけられていた
6	備品は適切に管理されていたか			B	適切に管理されている
7	駐車場の保全・管理は適切に行われていたか			B	適正に行われた

サービスに関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的なサービス向上に取り組んだか			B	必要に応じて取り組んでいた
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			A	常時改善に生かしている
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			B	おおむね適正に管理されていた
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			B	おおむね適正に行われた
5	セルフ・モニタリングは適正に行われたか			A	サービスの向上に努めている
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			A	サービスの向上に努めた
7	接客態度向上のための取り組みを実施したか。接客態度に問題はなかったか			A	接客態度の向上に努めた

その他に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	情報公開は適正に行われたか			B	おおむね適正に行われた
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			A	厳しく管理されている
3	環境に配慮した事業を推進したか			B	環境に配慮している
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			B	加入している
5	地域との協働は図られたか			B	おおむね図られた
6	市と連絡を密にしていたか			B	必要に応じ連絡を取っている

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要と評価できる。
◆利用料金比率	利用料金収入／収入	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率	人件費／支出	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎでないかを評価できる。
◆外部委託比率	外部委託費合計／支出	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎでないかを評価できる。
◆利用者当たりの管理コスト	支出／延利用者数	1人当たりの利用者に対するコストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者当たりの市負担コスト	指定管理料／延利用者数	1人当たりの利用者に対する市負担コストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設㎡当たりの利用者数	延利用者数／延床面積	施設㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準におおむね達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めている C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めていない D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めていない C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

## 指定管理者管理運営状況調書

### 1. 指定管理者・施設の基本情報

平成29年6月15日

指定管理者名	社会福祉法人 慈恵会	所管課	介護保険課
指定期間	H28.4.1～H33.3.31	選定方法	公募・任意指定
施設名	すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンター	施設の種類	高齢福祉施設
所在地	美濃加茂市新池町3丁目4番1号(総合福祉会館内)		
設置根拠条例等	介護保険法第8条第7項、美濃加茂市老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	居宅要介護者への通所介護及び高齢者の生きがい活動を支援するため		
実施事業	通所介護		

### 2. 施設の概要

土地	敷地面積	18,385.56 m <sup>2</sup>		駐車場台数	約150台(総合福祉会館)			
	内借地面積	1,372 m <sup>2</sup>	契約期間	—	借地料	—		
建物	設置形態	市所有 賃貸借	契約期間	—	賃借料	—		
	建物の内容	福祉施設(総合福祉会館1F一部)						
	主要な建物の建築年月	平成6年3月		取得時期	—			
	延床面積	369.57 m <sup>2</sup>	構造	RC造		階数	1	
	耐震基準	新	耐震診断	耐震補強	不要	Is値	—	
	バリアフリー化状況	実施 一部実施 未実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者用トイレ	その他
			有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	
	大規模修繕実施状況	未実施						
留意事項	経年により修繕が必要であるが、部品の調達が出来ず取替が必要							

### 3. 管理・運営の現況

開館日数	294日	休館日	日、祝、12/31～1/3	開館時間	8:30～17:00
職員数等管理体制	16名(生活相談員2名、介護職員6名、パート職員3名、看護職員3名、調理員2名)				

#### 4. 施設の維持管理コスト等

		(単位:千円)	28年度	年度	年度	年度	指定管理導入前
市の収支状況	支出	支出総額	46千円				
		人件費	—				
		維持補修費	—				
		減価償却費	—				
		光熱水費	—				
		委託費・指定管理料	—				
		賃借料	—				
		その他	46千円				
	収入	収入合計	—				
		使用料・手数料	—				
		その他業務収益	—				
		業務関連収益	—				
			(単位:千円)	28年度	年度	年度	年度
指定管理者の収支状況	支出	支出合計	70,212千円				
		人件費	38,250千円				
		事業費(水光熱費除く)	5,379千円				
		維持補修費	318千円				
		光熱水費	2,203千円				
		保守点検費	275千円				
		その他	23,787千円				
	収入	収入合計	70,212千円				
		指定管理料	—				
		利用料金	4,092千円				
自主事業収入		12千円					
	その他	66,108千円					

#### 5. 施設の利用状況

		28年度	年度	年度	年度	指定管理導入前		
開館日数	294日/年							
利用件数	—							
利用者数	7,641人/年							
定員	30人/日							
部 屋 別 稼 働 率	名称	すこやかタウン美濃加茂デイサービスセンター			平日	100%	土日祝	33%
	午前	100%	午後	100%	夜間	—%	計	—%
	名称				平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%
	名称				平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%

## 6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	居宅介護支援事業	利用者数等	7,641人
	事業内容	デイサービス		
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
特記事項				

## 7. 指定管理者制度導入前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	
コスト面	
利用者数・稼働率	
事業実施状況	
地域との協働等	
その他	



## 指定管理者モニタリングレポート（平成28年度）

作成日 平成29年6月15日

施設名	みのかも西デイサービスセンターあじさい	
所在地	美濃加茂市加茂野町鷹之巣2157番地	
指定管理者	名称 社会福祉法人 慈恵会 代表者 理事長 山田 實紘 住所 美濃加茂市下米田町東栃井81番地2	
指定期間・選定方法	平成28年4月1日～平成33年3月31日	公募・任意指定
モニタリングの実施方法等	指定管理者が、公の施設の設置目的を理解し、制度運営の透明性を確保しつつ、効果的かつ適正な管理運営を行い、良好なサービスの提供を行っているかを監視・監督し、次年度以降の業務内容等に反映させるために、指定管理者が提出した事業報告書等の資料と実地調査に基づき期末モニタリングを行う。	
所管課 (問合せ先)	健康福祉部介護保険課 電話0574-25-2111(内線509)	

## モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

介護保険法に基づく居宅要介護者等への通所介護及び高齢者の生きがい活動支援のため設置された美濃加茂市老人デイサービスセンターを、適正かつ円滑に管理し、利用者に対し、適切な通所介護サービスを提供していることが確認できた。

## 経営分析に関すること

事業収支は16,225千円であり、毎年安定して黒字収支となっている。利用料金比率は99.9%となっており、収入は、利用者の利用料金により賄われている。人件費比率は、72.9%で、昨年度と変わらない低い数値となっている。

### 事業計画・実施事業に関すること

管理基本方針、組織・人員体制、個人情報管理、各年度の事業計画を作成され、計画に基づき、適正に事業が実施されている。

### 経理に関すること

経理は法人本部で処理がされている。また、公認会計士の監査も受けており、適正に執行管理されている。

### 施設管理に関すること

施設管理について、デイサービスセンター管理者が適正に管理している。  
また、責任者2名が退所時に鍵を持ち帰り、施設開館時には、事務室の安全な場所に保管するなど適正な管理がなされている。  
10万円以上の修繕については美濃加茂市、それより少額の細かな修繕については、指定管理者が行うこととしている。

### サービスに関すること

利用者一人ひとりのニーズを把握し、居宅サービス計画に基づいた通所介護計画の作成により、個別介護方針を確立し、各利用者にとって、より良い介護サービスの提供に努めている。  
年に1度、利用者アンケートを行うとともに、リスクマネジメント委員会や権利を守る委員会を法人として設置し、利用者保護にも努めている。

### その他に関すること

介護保険法に基づく職員配置基準を上回る職員数を配置している。また、職員研修についても、積極的に実施されている。

## 指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(平成28年度)

総合評価	A
------	---

実施日 平成29年 6月15日

所管課 介護保険課

対象施設	みのかも西デイサービスセンターあじさい	選定方法	公募・任意指定
設置目的	居宅要介護者への通所介護及び高齢者の生きがい活動を支援するため		
指定管理者名	社会福祉法人 慈恵会	指定期間	平成28年4月1日～平成33年3月31日

総括	A	28年度	27年度	26年度	25年度	24年度	評価
経営分析	事業収支	16,225千円	8,189千円	5,342千円	3,928千円	9,570千円	A
	利用料金比率	99.9%	100.0%	96.6%	99.9%	99.7%	A
	人件費比率	72.9%	68.0%	67.9%	70.2%	70.3%	A
	外部委託費比率	—	—	—	—	—	—
	利用者当たりの管理コスト	6,581円	6,520円	6,761円	6,869円	6,587円	A
	利用者当たりの市負担コスト	—	—	—	—	—	—
	施設㎡当たりの利用者数	14.79人	15.06人	15.06人	14.95人	15.51人	A

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

実施事業に関すること	総括	B	一次評価	評価理由等
1 事業計画に基づき施設の設置目的に沿った事業を実施したか			B	事業計画に基づき実施された
2 収支計画との整合性はあったか			B	おおむね計画通りであった
3 開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	守られていた
4 施設職員体制が適正に整えられていたか			A	基準以上に整えられていた
5 公共性・公平性が保たれていたか			A	十分に保たれていた
6 改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			A	要望以上に改善を行った
7 自主事業は適正に実施されていたか			B	おおむね適正に実施された

経理に関すること	総括	A	一次評価	評価理由等
1 管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	開設されていた
2 協定に基づいた支出が適正に行われたか			A	支出を抑えるよう努力されていた
3 支出に関する帳簿が適正に記載・管理されていたか			A	十分な帳簿が整えられていた
4 帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか			A	細かく管理されている
5 現金は適正に管理されていたか			A	安全に管理されている

施設管理に関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			B	おおむね適正に実施された
2	清掃は確実に行われたか			A	清潔に保たれた
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			A	安全に配慮されていた
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			A	整えられていた
5	避難経路の安全性は確保されていたか			A	危険のない様に片づけられていた
6	備品は適切に管理されていたか			A	適切に管理されている
7	駐車場の保全・管理は適切に行われていたか			B	適正に行われた

サービスに関すること		総括	A	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的なサービス向上に取り組んだか			B	必要に応じて取り組んでいた
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			A	常時、改善に生かしている
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			B	おおむね適正に管理されていた
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			B	おおむね適正に行われた
5	セルフ・モニタリングは適正に行われたか			A	サービスの向上に努めている
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			A	サービスの向上に努めた
7	接客態度向上のための取り組みを実施したか。接客態度に問題はなかったか			A	接客態度の向上に努めた

その他に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	情報公開は適正に行われたか			B	おおむね適正に行われた
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			A	厳しく管理されている
3	環境に配慮した事業を推進したか			B	環境に配慮している
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			B	加入している
5	地域との協働は図られたか			B	おおむね図られた
6	市と連絡を密にしていたか			B	必要に応じ連絡を取っている

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要と評価できる。
◆利用料金比率	利用料金収入／収入	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率	人件費／支出	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎているかを評価できる。
◆外部委託比率	外部委託費合計／支出	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎているかを評価できる。
◆利用者当たりの管理コスト	支出／延利用者数	1人当たりの利用者に対するコストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者当たりの市負担コスト	指定管理料／延利用者数	1人当たりの利用者に対する市負担コストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設㎡当たりの利用者数	延利用者数／延床面積	施設㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準におおむね達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めている C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めていない D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めていない C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

## 指定管理者管理運営状況調書

### 1. 指定管理者・施設の基本情報

平成29年6月15日

指定管理者名	社会福祉法人 慈恵会	所管課	介護保険課
指定期間	H28.4.1~H33.3.31	選定方法	公募・ <u>任意指定</u>
施設名	みのかも西デイサービスセンターあじさい	施設の種類	高齢福祉施設
所在地	美濃加茂市加茂野町鷹之巣2157番地		
設置根拠条例等	介護保険法第8条第7項、美濃加茂市老人デイサービスセンターの設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	居宅要介護者への通所介護及び高齢者の生きがい活動を支援するため		
実施事業	通所介護		

### 2. 施設の概要

土地	敷地面積	1,900.63 m <sup>2</sup>		駐車場台数	5台			
	内借地面積	0 m <sup>2</sup>	契約期間	—	借地料	—		
建物	設置形態	<u>市所有</u> 賃貸借	契約期間	—	賃借料	—		
	建物の内容	福祉施設(デイサービス棟)						
	主要な建物の建築年月	平成13年3月		取得時期	—			
	延床面積	528.82 m <sup>2</sup>	構造	RC造		階数	1	
	耐震基準	新	耐震診断	不要	耐震補強	不要	ls値	—
	バリアフリー化状況	<u>実施</u> 一部実施 未実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者用トイレ	その他
			有・ <u>無</u>	<u>有</u> ・無	<u>有</u> ・無	<u>有</u> ・無	<u>有</u> ・無	
大規模修繕実施状況	未実施							
留意事項	経年により修繕が必要であるが、部品の調達が出来ず取替が必要							

### 3. 管理・運営の現況

開館日数	295日	休館日	日、祝 12/31~1/3	開館時間	9:00~16:00
職員数等管理体制	15名(生活相談員2名、介護職員6名、パート介護職員1名、看護職員3名、調理員3名)				

#### 4. 施設の維持管理コスト等

		(単位:千円)	28年度	年度	年度	年度	指定管理導入前
市の収支状況	支出	支出総額	1,392千円				
		人件費	—				
		維持補修費	823千円				
		減価償却費	—				
		光熱水費	44千円				
		委託費・指定管理料	—				
		賃借料	—				
		その他	525千円				
	収入	収入合計	—				
		使用料・手数料	—				
		その他業務収益	—				
		業務関連収益	—				
		(単位:千円)	28年度	年度	年度	年度	年度
指定管理者の収支状況	支出	支出合計	67,726千円				
		人件費	37,587千円				
		事業費(水光熱費除く)	6,775千円				
		維持補修費	513千円				
		光熱水費	2,765千円				
		保守点検費	1,519千円				
		その他	18,567千円				
	収入	収入合計	67,727千円				
		指定管理料	—				
		利用料金	4,272千円				
		自主事業収入	4千円				
		その他	63,451千円				

#### 5. 施設の利用状況

		28年度	年度	年度	年度	指定管理導入前		
開館日数	295日							
利用件数	—							
利用者数	7,825人/年							
定員	30人/日							
部 屋 別 稼 働 率	名称	みのかも西デイサービスセンターあじさい		平日	100%	土日祝	33%	
	午前	100%	午後	100%	夜間	—%	計	—%
	名称			平日	%	土日祝	%	
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%
	名称			平日	%	土日祝	%	
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%

## 6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	居宅介護支援事業	利用者数等	7,825 人
	事業内容	デイサービス		
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
特記事項				

## 7. 指定管理者制度導入前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	
コスト面	
利用者数・稼働率	
事業実施状況	
地域との協働等	
その他	



## 指定管理者モニタリングレポート（28年度）

作成日 平成29年 6月22日

施設名	ふれあいサロン福寿草	
所在地	美濃加茂市加茂野町加茂野5番地9	
指定管理者	名称 特定非営利活動法人 花時計 代表者 理事長 岸 篤司 住所 美濃加茂市加茂野町加茂野5番地9	
指定期間・選定方法	平成28年度～平成32年度	公募 <b>任意指定</b>
モニタリングの実施方法等	生きがい活動通所事業として位置付けられている「福寿草」が、指定管理者制度の中で適切かつ効率的に運営がなされているか、現地にてモニタリングを実施。	
所管課 (問合せ先)	美濃加茂市健康福祉部長寿福祉課 (長寿福祉係 内線501 )	

## モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

- 事業所の得意分野を十分に発揮した事業展開であることを確認した。
- 介護予防、生きがいに関する事業を、アンケートや目安箱を設け、利用者のニーズを取り入れた、指定管理者として適切な施設運営を行っている。
- 総合事業への移行に合わせて事業のあり方の検討をする。

## 経営分析に関すること

- 管理コストといった経営指標が改善している。
- 介護保険の制度改正の中で、NPO法人花時計が目指す事業と、行政の求める事業と、どのような位置付けになるかと合わせ、利用者の要望に応じていくことが重要な課題である。
- 地域との連携事業に積極的に取り組み、高齢者だけではなく、地域児童や可茂特支の自動等も、サポート事業として受け入れ、世代間交流を実施している。

## 事業計画・実施事業に関すること

- 事業計画に沿った運営を行っている。利用者のニーズに合わせ、職員一丸で事業運営ができています。
- 利用時間、利用者さんの送迎、運営内容において、公共性・公平性が保たれ、適正に運営されている。

### 経理に関すること

- 固有の銀行口座と会計ソフトの活用により、他会計と明確に区分して適切に経理が行われている。
- 現金は、施錠した金庫をさらに施錠できる部屋に保管している。
- 金庫の鍵は、鍵のかかる机に保管されている。
- 出納帳は、適正に管理されている。

### 施設管理に関すること

- 火災報知器や浄化槽の点検など定期点検が適正に実施されている。
- 毎日の清掃により、風呂、トイレ等を含め清潔に管理されている。
- マスターキー等貴重品は、常勤職員により適切に管理されており、利用者等は関与できない環境となっている。
- 不要な障害物もなく緊急時の避難経路は十分に確保されている。
- AED をわかりやすい場所に設置し、緊急時に備えられている。

### サービスに関すること

- 苦情や家族からの要望等は日誌に記し、迅速に対応する体制になっている。
- 利用者さんのニーズに合わせ、体操教室や手芸などリクリエーションに努め、外出行事も定期的に取り入れられている。
- アンケートや目安箱の活用によるセルフ・モニタリングを実施して、寄せられた利用者の意見や要望を運営に反映させるよう努力している。
- 利用者さんの呼び方や、接し方などに注意し、その方にあった距離感とふれあいに努め、苦情につながらないよう細やかな配慮をした運営をしている。
- 定期的にホームページをリニューアルし、情報発信に努めている。

### その他に関すること

- 食材にホンモロコや無農薬野菜を使用し、地産地消を心がけている。
- 傷害保険は、基準以上の加入をし、万が一の事故に備えた体制を整備している。

## 指定管理者 期末モニタリング チェックリスト( 28年度)

総合評価	B
------	---

実施日 29年 6月22日  
所管課 長寿福祉課

対象施設	ふれあいサロン福寿草	選定方法	公募(任意指定)
設置目的	高齢者及び障がい者に対して生きがい活動の場を提供し、各種の活動を通じて市民福祉の向上を図るため		
指定管理者名	特定非営利活動法人 花時計	指定期間	H28.4.1~H33.3.31

総括	B	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	評価
経営分析	事業収支	0	0	0	0	0	B
	利用料金比率	28.4%	25.5%	21.9%	22.3%	18.1%	B
	人件費比率	45.8%	49.0%	50.2%	52.7%	62.81%	B
	外部委託費比率	0.7%	1.9%	1.7%	1.0%	0.8%	B
	利用者当たりの管理コスト	3,525円	3,925円	4,547円	4,476円	5,525円	B
	利用者当たりの市負担コスト	2,471円	2,869円	3,517円	3,423円	4,499円	B
	施設㎡当たりの利用者数	36.4人	31.4人	26.5人	27.2人	26.6人	B

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

実施事業に関すること	総括	B	一次評価	評価理由等
1 事業計画に基づき施設の設置目的に沿った事業を実施したか			B	実施している
2 収支計画との整合性はあったか			B	整合している
3 開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	適正である
4 施設職員体制が適正に整えられていたか			B	適正である
5 公共性・公平性が保たれていたか			A	利用者に対し、十分な配慮をして実施している
6 改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			A	トイレの手拭をタオルから紙に変更した。HP掲載。ボイラーの車がぶつかからないように、車止めブロックを設置した。
7 自主事業は適正に実施されていたか			—	花時計と併設な為、自主事業は合同で開催されている

経理に関すること	総括	B	一次評価	評価理由等
1 管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	適正に管理されている
2 協定に基づいた支出が適正に行われたか			B	適正である

3	支出に関する帳簿が適正に記載・管理されていたか	B	適正である
4	帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか	B	適正である
5	現金は適正に管理されていたか	B	適正である
<b>施設管理に関すること</b>		<b>総括</b> B	一次評価 評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか	B	適正である
2	清掃は確実に行われたか	B	行われている
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか	B	特に問題なし
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか	B	特に問題なし
5	避難経路の安全性は確保されていたか	B	特に問題なし
6	備品は適切に管理されていたか	B	特に問題なし
7	駐車場の保全・管理は適切に行われていたか	B	適切である

<b>サービスに関すること</b>		<b>総括</b> B	一次評価 評価理由等
1	利用時間の延長など具体的なサービス向上に取り組んだか	B	希望があれば実施する予定
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか	B	特になし
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか	B	日誌に記載
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか	B	適正
5	セルフ・モニタリングは適正に行われたか	B	実施
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか	A	家族、本人の希望に対応している
7	接客態度向上のための取り組みを実施したか。接客態度に問題はなかったか	B	利用者との距離感について、必要以上に配慮している

<b>その他に関すること</b>		<b>総括</b> B	一次評価 評価理由等
1	情報公開は適正に行われたか	B	福寿草、県庁HPに掲載
2	個人情報適正に利用・管理されていたか	B	適正に鍵付きロッカーに保管
3	環境に配慮した事業を推進したか	A	無農薬野菜を使用、自給自足を実施
4	業務実施に必要な保険に加入していたか	B	死亡 1,000 万円
5	地域との協働は図られたか	A	児童館祭りに参加、昭和村イベントに参加
6	市と連絡を密にしていたか	B	常時連絡している

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要と評価できる。
◆利用料金比率	利用料金収入／収入	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率	人件費／支出	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎているかを評価できる。
◆外部委託比率	外部委託費合計／支出	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎているかを評価できる。
◆利用者当たりの管理コスト	支出／延利用者数	1人当たりの利用者に対するコストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者当たりの市負担コスト	指定管理料／延利用者数	1人当たりの利用者に対する市負担コストが適正であるかを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設㎡当たりの利用者数	延利用者数／延床面積	施設㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準におおむね達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めている C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めていない D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めていない C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

## 指定管理者管理運営状況調書

1. 指定管理者・施設の基本情報

平成 29 年 6 月 22 日

指定管理者名	特定非営利活動法人 花時計	所管課	長寿福祉課
指定期間	平成 28 年 4 月 1 日～ 平成 33 年 3 月 31 日	選定方法	公募・任意指定
施設名	ふれあいサロン福寿草	施設の種類	高齢福祉施設
所在地	美濃加茂市加茂野町加茂野 5 番地 9		
設置根拠条例等	美濃加茂市ふれあいサロンの設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	高齢者及び障がい者に対して生きがい活動の場を提供し、各種の活動を通じて市民福祉の向上を図るため		
実施事業	生きがい活動支援通所事業		

2. 施設の概要

土地	敷地面積	255.08 m <sup>2</sup>		駐車場台数	6			
	内借地面積	255.08 m <sup>2</sup>	契約期間	H23.4.1～	借地料	25,508 円/月		
建物	設置形態	市所有	契約期間	—	賃借料	—		
	建物の内容	和室3 洋室1						
	主要な建物の建築年月	H12. 3		取得時期	同左			
	延床面積	96.63 m <sup>2</sup>	構造	木造		階数	平屋	
	耐震基準	新耐震基準	耐震診断	不要	耐震補強	不要	Is値	—
	バリアフリー化状況	<input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 一部実施 <input type="checkbox"/> 未実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者用トイレ	その他
			有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
大規模修繕実施状況	予定なし							
留意事項	特になし							

### 3. 管理・運営の現況

開館日数	242	休館日	土曜・日曜 ・祝祭日	開館時間	9時～16時
職員数等 管理体制	管理者1名、相談員1名、看護師1名、事務員1名、調理師1名、 送迎運転者4名				

### 4. 施設の維持管理コスト等

		(単位:千円)	28年度	年度	年度	年度	指定管理導入前
市の 収 支 状 況	支 出	支出総額	11,894				
		人件費					
		維持補修費					
		減価償却費					
		光熱水費					
		委託費・指定管理料	11,546				
		賃借料	306				
		その他	42				
	収 入	収入合計					
		使用料・手数料					
その他業務収益							
業務関連収益							
		(単位:千円)	28年度	年度	年度	年度	年度
指定 管 理 者 の 収 支 状 況	支 出	支出合計	14,178				
		人件費	8,906				
		事業費	4,335				
		維持補修費	208				
		光熱水費	614				
		保守点検費	115				
		その他					
	収 入	収入合計	14,178				
		指定管理料	11,546				
		利用料金	2,566				
自主事業収入		66					
	その他						

### 5. 施設の利用状況

	28年度	年度	年度	年度	指定管理導入前
開館日数	242				
利用件数	242				
利用者数	2566				
定員	12				

部 屋 別 稼 働 率	名称	集会室			平日	100%	土日祝	—%
	午前	100%	午後	100%	夜間	—%	計	100%
	名称				平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%
	名称				平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%

## 6. 事業の実施状況

事 業 の 実 施 状 況	事業名	いきがい活動支援通所事業	利用者数等	2,566人
	事業内容	介護予防自立支援生活援助いきがいデイサービス		
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
特記事項				

## 7. 指定管理者制度導入前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	指定管理施設となり、介護保険業務の不足するサービスを提供できるようになった。
コスト面	委託業務の時は、利用料を市へ納付しており、毎月の支払業務が煩雑で非効率であったことが改善され、人件費削減につながった。
利用者数・稼働率	利用者数は減少傾向にある、稼働率は、以前同様 100%である。
事業実施状況	事業内容が明確になり、利用者の介護予防事業につながっている。
地域との協働等	元々地域との協働できていた。今は、市内全域と協働し、連携をとりつつ運営されている。
その他	特になし



## 指定管理者モニタリングレポート（平成28年度）

作成日 平成29年6月28日

施設名	美濃加茂市障害者支援施設 ひまわりの家	
所在地	美濃加茂市新池町2丁目5番48号	
指定管理者	名称 社会福祉法人 美濃加茂市社会福祉協議会 代表者 会長 日比野 和郎 住所 美濃加茂市新池町3丁目4番1号	
指定期間・選定方法	平成26年4月1日～平成31年3月31日	任意指定
モニタリングの実施方法等	指定管理者管理運営状況と各種書類の照合及びチェックリストによる聞き取り調査	
所管課 (問合せ先)	美濃加茂市健康福祉部福祉課	

## モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

## 1. 総合結果

指定管理協定書及び協定書に付随した仕様書に基づき、適正に管理運営がされている。

平成28年度より生活介護事業を追加し多機能型事業所として、障がい者のサービス向上に努めている。また、平成27年度と比較すると直接支援職員が4名から平成28年度には8名（内送迎運転員1名）に増員され、利用者に対し手厚いサービスの提供と送迎サービスの実施によるサービスの向上が行われている。

## 経営分析に関すること

平成25年度からの決算状況を見ると、各年度共に黒字となっており、財政基盤の安定化が図られている。人件費率としては、ワムネットにページアップされている「福祉医療機構のデータに基づく、平成26年度の障害福祉サービスの経営状況」には人件費率61.4%とされており、同年度の当該事業所の人件費率は、67.64%となっており若干高い数値となっている。平成28年度においても同様に人件費率は63.9%とされているが同年度の当該事業所の人件費率は、70.83%となっており若干高い数値となっている。

### 事業計画・実施事業に関すること

事業計画については、就労継続支援B型事業と生活介護事業ごとに立案され、計画に準じて実施されている。また、利用者には利用者の能力や希望に合わせた個別支援計画が立てられており、この計画に従い職員が個別に指導している。

### 経理に関すること

経理については、経理担当者として事業所に事務職員が配置され、支払等については社協本体の職員がこれにあたるなど、支払い事務について過誤が無いようチェック体制が整っている。

利用者に対する工賃の支払いについては、生産活動の収益の範囲内で工賃規定に基づき利用者の能力及び出勤状態に応じて支払われている。

### 施設管理に関すること

施設管理は各種設備の保守点検などにより適切に行われているが、平成6年度の開設から23年が経過しており、エアコンなど設備の不具合が出てきている。

また、利用者への身体的・精神的負担を軽減するよう、限られたスペースの中で配慮が必要と思われる。

### サービスに関すること

平成28年度より従来の就労継続支援B型事業に併せて生活介護事業を開始しており、これに伴いスタッフの充実が図られた。とりわけ嘱託医の嘱託と看護師の採用により、利用者の健康面の意識の向上が大きく、生活介護事業利用者に限らず就労継続支援B型事業利用者に対しても、健康診断の推奨など従来ではできなかったサービスの充実が図られた。

### その他に関すること

今後の課題として考えられることは、施設の老朽化に伴い設備の修繕が毎年のように発生しており、近い将来大規模修繕が必要になってくるものと思われ、指定管理者と市との連絡を密にしていかなければならない。

## 指定管理者 期末モニタリング チェックリスト(平成28年度)

総合評価	B
------	---

実施日 平成29年 6 月 28 日  
所管課 福祉課

対象施設	美濃加茂市障害者支援施設ひまわりの家	選定方法	任意指定
設置目的	美濃加茂市障害者支援施設の設置及び管理に関する条例の趣旨による		
指定管理者名	(福)美濃加茂市社会福祉協議会	指定期間	H26.4.1～H31.3.31

総括		B	25年度	26年度	27年度	28年度	評価
経営分析	事業収支		+8,673 千円	+8,420 千円	+7,540 千円	+5,646 千円	B
	利用料金比率		該当無し	該当無し	該当無し	該当無し	該当無し
	人件費比率		73.93%	67.64%	68.57%	70.83%	B
	外部委託費比率		該当無し	該当無し	該当無し	該当無し	該当無し
	利用者当たりの管理コスト		4.40 千円	4.49 千円	4.72 千円	5.65 千円	B
	利用者当たりの市負担コスト		該当無し	該当無し	該当無し	該当無し	該当無し
	施設㎡当たりの利用者数		13.74 人	13.74 人	13.57 人	12.86 人	B

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

実施事業に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	事業計画に基づき施設の設置目的に沿った事業を実施したか			B	就労B及び生活介護計画に基づき、適切に実施されている
2	収支計画との整合性はあったか			B	予算書に従い適切に執行されている。
3	開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	仕様書どおり適性に守られている。
4	施設職員体制が適正に整えられていたか			B	仕様書及び指定基準どおり配置されている。
5	公共性・公平性が保たれていたか			B	公共性等適切に保たれている。
6	改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			B	前回モニタリング時の指示事項無し。
7	自主事業は適正に実施されていたか			B	各事業計画により適切に実施されている。

経理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	施設個別の口座が開設・管理されている。
2	協定に基づいた支出が適正に行われたか			B	協定書に基づき適切に執行されている。
3	支出に関する帳簿が適正に記載・管理されていたか			B	帳簿等、適切に整えられている。
4	帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか			B	事業所で作成し、社協本体でチェック管理
5	現金は適正に管理されていたか			B	適切に管理されている。

施設管理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			B	施設の保守点検等について、適切に実施されている。
2	清掃は確実に行われたか			B	毎日の日課として、職員の指導の下、利用者が清掃されている。
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			B	マスターキーについては社協本体で管理されており、事業所の鍵については、責任ある職員により管理されている。
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			B	事業所分についても、社協本体で総括的に整えられている。
5	避難経路の安全性は確保されていたか			B	避難経路の安全については、確保されている。
6	備品は適切に管理されていたか			B	市の備品、社協の備品については、各備品台帳により適正に管理されている。
7	駐車場の保全・管理は適切に行われていたか			B	適切に管理されていることを確認した。

サービスに関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的なサービス向上に取り組んだか			B	施設の性質上、利用時間の延長は無いが、利用者の賃金向上計画等適正に行われている。
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			B	社協の「苦情解決の組織及び取扱規程」に従い整備されている。
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			B	各マニュアルに従い、適切に整備・管理されている。
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			B	HPについては、適正に管理・運営されている。
5	セルフ・モニタリングは適正に行われたか			B	適正に実施されている。
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			B	利用者及び保護者に対するアンケートを実施し、サービスの向上を行った。
7	接客態度向上のための取り組みを実施したか。接客態度に問題はなかったか			B	社協本体で研修委員会を組織し、職員に対定期的に研修が実施されている。また、来所者等に対する職員の態度は良好である。

その他に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	情報公開は適正に行われたか			B	情報公開の実績はないが、公開に関する規定は、社協本体により規定されている。
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			B	個人情報の利用については、事前に利用者または保護者に対して文書により承諾がされており、適性に利用されている。
3	環境に配慮した事業を推進したか			B	エコバック、廃油石鹼等環境配慮製品の製造・販売がされている。
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			B	職員については、全社協による保険が、利用者については自己において保険に加入されている。
5	地域との協働は図られたか			B	地域の催事などに積極的に参加された。
6	市と連絡を密にしていたか			B	優先調達法、生活介護の実施等、市と協議・連絡が行われた。

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要と評価できる。
◆利用料金比率	利用料金収入／収入	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率	人件費／支出	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎているかを評価できる。
◆外部委託比率	外部委託費合計／支出	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎているかを評価できる。
◆利用者当たりの管理コスト	支出／延利用者数	1人当たりの利用者に対するコストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者当たりの市負担コスト	指定管理料／延利用者数	1人当たりの利用者に対する市負担コストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設㎡当たりの利用者数	延利用者数／延床面積	施設㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準におおむね達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めている C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めていない D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めていない C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

## 指定管理者管理運営状況調書

### 1. 指定管理者・施設の基本情報

平成29年6月28日

指定管理者名	(福)美濃加茂市社会福祉協議会	所管課	福祉課
指定期間	H26.4.1~H31.3.31	選定方法	任意指定
施設名	美濃加茂市障害者支援施設 ひまわりの家	施設の種類	障害者支援施設
所在地	美濃加茂市新池町2丁目5番48号		
設置根拠条例等	美濃加茂市障害者支援施設の設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	美濃加茂市障害者支援施設の設置及び管理に関する条例の趣旨による		
実施事業	指定就労継続支援B型事業、指定生活介護事業		

### 2. 施設の概要

土地	敷地面積	626.0㎡		駐車場台数	4台			
	内借地面積	㎡	契約期間		借地料			
建物	設置形態	市所有	契約期間		賃借料			
	建物の内容	障害者支援施設(作業室、相談室、便所、浴室、事務所等)、車庫						
	主要な建物の建築年月	平成6年2月		取得時期	平成6年2月9日			
	延床面積	334.51㎡		構造	鉄骨造		階数	1階
	耐震基準	新耐震	耐震診断		耐震補強		Is値	
	バリアフリー化状況	実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者用トイレ	その他
			無	有	有	無	有	
	大規模修繕実施状況	無し						
留意事項	無し							

### 3. 管理・運営の現況

開館日数	239日(H28)	休館日	年末年始及び祝日・土・日曜日	開館時間	8:30~17:15
職員数等管理体制	管理者(1名)、サービス管理責任者(1名)、職業指導員(1名)、生活支援員(3名)、看護師(1名)、送迎車両運転手(1名)				

#### 4. 施設の維持管理コスト等

		(単位:千円)	年度	年度	年度	指定管理導入前
市の収支状況	支出	支出総額				
		人件費				
		維持補修費				
		減価償却費				
		光熱水費				
		委託費・指定管理料				
		賃借料				
		その他				
	収入	収入合計				
		使用料・手数料				
その他業務収益						
業務関連収益						
		(単位:千円)	25年度	26年度	27年度	28年度
指定管理者の収支状況	支出	支出合計	20,220	20,643	21,450	24,300
		人件費	14,949	13,963	14,708	17,213
		事業費	2,759	3,146	3,453	3,446
		維持補修費	42	296	326	184
		光熱水費	825	884	833	785
		保守点検費	704	531	396	426
		その他	941	1,823	1,734	2,246
収入	収入合計	28,893	29,063	28,990	29,946	
	指定管理料	0	0	0	0	
	利用料金	0	0	0	0	
	事業活動収入	2,681	3,082	3,787	3,624	
	その他	26,212	25,981	25,203	26,322	

#### 5. 施設の利用状況

		25年度	26年度	27年度	28年度	指定管理導入前		
開館日数		242	242	239	239			
利用件数		242	242	239	239			
利用者数		4,598	4,598	4,541	4,302			
定員		20	20	20	20			
部 屋 別 稼 働 率	名称	平成28年度稼働率(件数割)			平日	100%	土日祝	%
	午前	100%%	午後	100%%	夜間	%	計	100%
	名称	平成28年度稼働率(利用者割)			平日	82.4%	土日祝	%
	午前	82.4%	午後	82.4%	夜間	%	計	82.4%
	名称				平日	%	土日祝	%
	午前	%	午後	%	夜間	%	計	%

## 6. 事業の実施状況

事業の実施状況	事業名	指定就労継続支援B型事業	利用者数等	12名
	事業内容	通所により生産活動の機会を提供するとともに、一般就労に必要な知識及び能力が高まった者は、一般就労等に向けて支援を行う。		
	事業名	指定生活介護事業	利用者数等	6名
	事業内容	地域において安定した生活を営むために、介護が必要な障がい者に日常生活上の支援、創作活動及び生産活動等の機会の提供、その他生活能力の向上のための援助を行う。		
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
	事業名		利用者数等	
	事業内容			
特記事項				

## 7. 指定管理者制度導入前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	生活介護事業(平成28年7月開始)の開始により、スタッフに看護師が加わり利用者に対する健康面でのケアが可能となった。
コスト面	総合支援法による指定事業所となったため、国の報酬単価が適用となり従前の委託料と比較しても運営の安定化が図れた。
利用者数・稼働率	モニタリング時点の利用者数は、就労Bが12名、生活介護が6名で、利用者数からみた全体の稼働率は82.4%である。
事業実施状況	利用者は定員に対して2名の余裕があるが、緊急、急を要する場合を考慮すると望ましい状態といえる。また、現場の実施状況及び運営面共に特に問題はない。
地域との協働等	事業所開設後20年を経過しており、地域の住民に受け入れられており、当該施設の所在する古井地区の行事(7月下旬開催のふるさと夏祭り)などに参加している。
その他	



## 指定管理者モニタリングレポート（28年度）

作成日 29年6月30日

施設名	美濃加茂市総合福祉会館（すこやかタウン美濃加茂）	
所在地	美濃加茂市新池町三丁目4番1号	
指定管理者	名称 社会福祉法人 美濃加茂市社会福祉協議会 代表者 会長 日比野 和郎 所在地 美濃加茂市新池町三丁目4番1号	
指定期間・選定方法	H28.4.1～H33. 3. 31	公募・任意指定
モニタリングの実施方法等	地域福祉活動の拠点として設置された「総合福祉会館」が、指定管理者により適切かつ効率的な運営がなされているか、現地にて各種書類の確認、聞き取りや施設内の確認によるモニタリングを実施。	
所管課 (問合せ先)	美濃加茂市健康福祉部福祉課 (福祉政策係 内線315)	

## モニタリングの総合結果及び業務改善に向けた方針

- 地域福祉活動の拠点である総合福祉会館を、地域福祉推進の中心である社会福祉協議会が運営管理することにより、利用者のニーズに沿ったサービスの提供及びそれらの質的向上が一層図られるよう、事業の推進や環境整備に努めていることを確認した。
- 前年度のモニタリングの指摘事項の確認をした。
- 指定管理協定書、仕様書の内容を順守し事業を実施する。

## 経営分析に関すること

- 事業収支、人件費比率、利用者当たりの管理コスト、施設利用者数は増加している。
- 増加理由の主な要因として、昨年8月より喫茶（むくの木）業務を自主事業として行ったことによるものであることを確認する。
- 夜間の管理については、当番制でフレックスタイムを活用し、職員に過度な負担をかけないように配慮するとともに人件費の抑制に努めている。

### 事業計画・実施事業に関すること

- 事業計画に則った運営が実施されているとともに、利用者のニーズにあった事業展開が予定されている。
- 利用時間、休館日は適正に実行されているが、夜間の開館についてはニーズ及び費用対効果の観点から金曜日のみとなっている。
- 各種教室の積極的な開催や、健康コーナーにおける相談や血圧測定等の実施により、利用者の健康維持に大きく寄与している。
- 健康相談新規利用者数の正確な人数を把握できるよう徹底されたい。

### 経理に関すること

- 固有の銀行口座を開設し適正な経理が行われている。
- 経理を他の事業と明確に区分するため、収支共に帳簿を分けて適切に管理している。
- 電気使用量の最大デマンドを抑制することで、電気代の節減に努めている。
- 現金は金庫に保持するとともに、鍵を限定された職員2名のみで管理し、また長期間現金のまま保管しないよう随時金融機関へ入金している。
- 入札で自販機（2台）の導入をしたことにより有利に置くことを確認した。
- 複数の業者から見積書を取り経費削減に努めている。

### 施設管理に関すること

- 消防設備、電気設備その他会館に付属する各種設備（ホール内設備・エレベーター等）は、法令に基づき適切かつ定期的に保守・点検を実施する予定である。
- 清掃は、日常清掃をシルバー人材センターの活用により実施するとともに、定期的に専門業者による清掃を予定している。
- 緊急時には、緊急連絡網により必要な職員に連絡が取れる体制が整備されている。
- 避難訓練を年2回、趣向を変えて実施することを確認した。
- 避難経路に障害物は放置されていない。
- 福祉避難所として施設の適正な運用を図るよう引き続き協議していく。
- ヘルパー車の駐車場について、会館東側とゲートボール場の空きスペースを利用し、駐車スペースを設けている。会館の駐車スペースの状況や来場者の便宜等や安全対策を確認し、総合的に検討するとヘルパー車の駐車場として利用することはやむを得ないが、引き続き周辺の安全確保に努める。

### サービスに関すること

- 利用者から頂いたご意見等を、健康コーナー、談話コーナー、あじさいの間にて実施結果の公表を行っている。
- 緑のカーテンより自然豊かで彩りのある会館の環境づくりを行っている。
- 社協だよりやホームページを利用して、積極的なPRを行っている。
- ホームページの平成29年度事業計画の一部で訂正とリンク先の修正を確認する。
- 喫茶（むくの木）では、新たなメニュー（甘酒・お好み焼き定食・ほう葉寿司等季節のメニュー）を提供し集客の増加に努めていることを確認した。  
また、ひまわりの授産製品販売コーナーを設け積極的に努めている。

## その他に関すること

- 福祉施設として特に個人情報の管理には引き続き十分注意することを確認した。
- 利用者及びイベントに係る保険は確実に加入していることを確認した。
- 不慮の事故や予期せぬ修繕が生じた場合など、不可抗力の発生時には所定の届出様式により迅速に報告する体制を整備している。

## 指定管理者 期末モニタリング チェックリスト( 28年度)

総合評価	B
------	---

実施日 29年 6月 26日  
所管課

対象施設	美濃加茂市総合福祉会館(すこやかタウン美濃加茂)	選定方法	公募・任意指定
設置目的	福祉会館を適性かつ円滑に管理するため、民間事業者である美濃加茂市社会福祉協議会の能力を活用しつつ、市民等に対する行政サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域福祉の一層の増進を図る。		
指定管理者名	社会福祉法人 美濃加茂市社会福祉協議会 会長 日比野 和郎	指定期間	H28.4.1~H33. 3. 31

総括	B	25年度	26年度	27年度	28年度	年度	評価
経営分析	事業収支	810,560	203,426	899,883	1,368,341		A
	利用料金比率	2.56	4.19	2.39	1.67		A
	人件費比率	27.68	26.85	31.36	32.78		C
	外部委託費比率	29.45	26.40	27.32	26.76		B
	利用者当たりの管理コスト	412	441	425	449		B
	利用者当たりの市負担コスト	410	425	424	411		B
	施設㎡当たりの利用者数	24	24	25	27		B

※上記の経営分析については、過去の実績や類似施設と比較して評価する(優良:A、良好:B、問題有:C、要改善:D)

実施事業に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	事業計画に基づき施設の設置目的に沿った事業を実施したか			B	年間事業計画に沿って実施された
2	収支計画との整合性はあったか			B	適正である
3	開館時間、休館日は適正に守られていたか			B	適正に実行されている。夜間開館は週1日(金曜日)のみ
4	施設職員体制が適正に整えられていたか			B	適正である
5	公共性・公平性が保たれていたか			B	適正である
6	改善指示事項や要望が事業に反映されていたか			B	改善に向けたアンケート調査内容の検討
7	自主事業は適正に実施されていたか			B	自主事業の実勢結果の報告を受けた

経理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	管理業務に係る固有の銀行口座が適正に管理されていたか			B	開設している
2	協定に基づいた支出が適正に行われたか			B	適正に行われている
3	支出に関する帳簿が適正に記載・管理されていたか			B	支出帳簿(抜粋)確認
4	帳簿を適正に記載・管理する体制が整えられていたか			B	記載内容を確認
5	現金は適正に管理されていたか			B	適正である

施設管理に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	保守点検・検査・修繕は適正に実施されたか			B	各業務は適正に行われた
2	清掃は確実に行われたか			B	清掃は適正に行われた
3	マスターキー等の管理体制は十分であったか			B	適正な管理がされている
4	緊急時の連絡体制は整えられていたか			B	連絡網は整備されている
5	避難経路の安全性は確保されていたか			B	避難経路は十分に確保されている
6	備品は適切に管理されていたか			B	適正な管理がされている
7	駐車場の保全・管理は適切に行われていたか			B	敷地内の空き地を利用しヘルパー車の駐車スペースを確保し適正な管理がされている

サービスに関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	利用時間の延長など具体的なサービス向上に取り組んだか			B	サービスの向上に努めている
2	苦情等の処理は適正かつ迅速に行われたか			B	適正に対処している
3	苦情等の処理に関する書類は適正に整備・管理されていたか			B	日報等に記録され、ミーティング等で情報共有されている
4	ホームページ等でのPRは適正に行われたか			B	適正に行われている
5	セルフ・モニタリングは適正に行われたか			C	会館の日報や、健康相談での苦情内容を分析し対応しているが、健康相談新規利用者数の正確な人数を把握できるよう徹底してください
6	利用者アンケートの結果をサービスの向上にいかしたか			B	利用者から頂いたご意見等を、健康コーナー、談話コーナー、あじさいの間にて実施結果の公表を行っている。
7	接客態度向上のための取り組みを実施したか。接客態度に問題はなかったか			B	特に問題はない

その他に関すること		総括	B	一次評価	評価理由等
1	情報公開は適正に行われたか			B	社協だよりを定期的に発行した
2	個人情報適正に利用・管理されていたか			B	個人情報保護法方針に基づき適正に管理されている
3	環境に配慮した事業を推進したか			B	花壇の手入れ、夏期に緑のカーテンや冬期には窓越しにベンチを設置し環境に配慮する
4	業務実施に必要な保険に加入していたか			B	十分な額の加入を確認
5	地域との協働は図られたか			B	地域の意見を聞き常時相互連絡を実施
6	市と連絡を密にしていたか			B	適正である

●経営分析の指標と評価の考え方

評価指標	計算方法	評価の考え方
◆事業収支	収入－支出	事業全体が黒字であるかを確認。赤字の場合、管理継続性の面で課題となるため、市及び指定管理者で黒字転換に向けた協議が必要と評価できる。
◆利用料金比率	利用料金収入／収入	収入に占める利用料金の割合。指定管理者の主たる収入源がどこにあり、それが安定したものであるかを評価できる。
◆人件費比率	人件費／支出	支出に占める人件費の割合。支出の中で人件費が高すぎないか、抑制しすぎているかを評価できる。
◆外部委託比率	外部委託費合計／支出	支出に占める外部委託費の割合。外部委託に委任しすぎているかを評価できる。
◆利用者当たりの管理コスト	支出／延利用者数	1人当たりの利用者に対するコストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆利用者当たりの市負担コスト	指定管理料／延利用者数	1人当たりの利用者に対する市負担コストが適正であることを確認。前年度との比較、類似施設との比較などにより効率性を評価できる。
◆施設㎡当たりの利用者数	延利用者数／延床面積	施設㎡当たりの利用者数を確認。利用者に対して施設の大きさが適当か、類似施設との比較により効率性を評価できる。

●評価の判定基準

① 一次評価	A(優良)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準よりも優れている B(良好)= 協定書、仕様書等の内容を遵守し、定めた水準におおむね達している C(課題有)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しているが、一部課題がある D(要改善)= 協定書、仕様書等の内容を遵守しておらず、早急な改善が必要である
② 総括	A(優良)= 一次評価がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良好)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めている C(課題有)= 一次評価がすべてC以上であり、かつABが過半数を占めていない D(要改善)= 一次評価にDが含まれている
③ 総合評価	A(優良)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めている B(良好)= 総括がすべてB以上であり、かつAが過半数を占めていない C(課題有)= 総括がすべてC以上であり、かつCが含まれている D(要改善)= 総括にDが含まれている

## 指定管理者管理運営状況調書

1. 指定管理者・施設の基本情報

平成29年6月5日

指定管理者名	社会福祉法人 美濃加茂市社会福祉協議会 会長 日比野 和郎	所管課	福祉課
指定期間	H28.4.1～H33. 3. 31	選定方法	任意指定
施設名	美濃加茂市総合福祉会館すこやかタウン美濃加茂	施設の種類	保健・福祉施設
所在地	美濃加茂市新池町三丁目 4 番 1 号		
設置根拠条例等	地方自治法第244条の2第3項 美濃加茂市総合福祉会館の設置及び管理に関する条例		
設置目的・役割	福祉会館を適性かつ円滑に管理するため、民間事業者である美濃加茂市社会福祉協議会の能力を活用しつつ、市民等に対する行政サービスの効果及び効率を向上させ、もって地域福祉の一層の増進を図る。		
実施事業	1. 高齢者、障がい者、母子家庭、父子家庭等に対する福祉活動に関すること。 2. ボランティア活動に関すること。 3. 社会福祉団体の育成に関すること。 4. 前各号に掲げるもののほか、市民福祉の増進に関すること。		

2. 施設の概要

土地	敷地面積	17, 829. 56㎡			駐車場台数	188台				
	内借地面積	実測816㎡	契約期間	3 年毎に延長		借地料	881,280 円(年間)			
建物	設置形態	市所有	契約期間	—		賃借料	なし			
	建物の内容	福祉会館・工芸室・憩いの館・倉庫・車庫・プロパン庫・駐輪場								
	主要な建物の建築年月	平成6年3月建築			取得時期	平成6年3月				
	延床面積	3, 431. 07㎡		構造	鉄筋コンクリート造		階数	2階建		
	耐震基準	新基準	耐震診断	—		耐震補強	—		Is値	—
	バリアフリー化状況	実施	エレベーター	スロープ	自動ドア	手すり	障がい者用トイレ	その他		
			①・無	①・無	①・無	①・無	①・無	①・無		
	大規模修繕実施状況	外壁・防水改修済み								
留意事項										

### 3. 管理・運営の現況

開館日数	292日	休館日	73日	開館時間	8:30~16:30 (※金曜日 ~21:00)
職員数等 管理体制	館長(嘱託)1人、常勤職員1人、常勤職員(嘱託)1人、看護師(臨時)4人				

### 4. 施設の維持管理コスト等

		(単位:千円)	28年度	年度	年度	年度	指定管理導入前
市の 収 支 状 況	支 出	支出総額	43,416				
		人件費	1,230				
		維持補修費	2,711				
		減価償却費	0				
		光熱水費	0				
		委託費・指定管理料	38,103				
		賃借料	881				
	その他	491					
	収 入	収入合計	0				
		使用料・手数料	0				
その他業務収益		0					
業務関連収益		0					
		(単位:千円)	28年度	年度	年度	年度	年度
指定 管 理 者 の 収 支 状 況	支 出	支出合計	41,674				
		人件費	13,647				
		事業費	3,175				
		維持補修費	459				
		光熱水費	10,747				
		保守点検費	4,268				
		その他	9,378				
	収 入	収入合計	43,041				
		指定管理料	38,102				
		利用料金	722				
自主事業収入		4,125					
その他	92						

### 5. 施設の利用状況

(平成24年度)

	28年度	年度	年度	年度	指定管理導入前
開館日数	292				292
利用件数	-				-
利用者数	92,762				86,751
定員	-				-



部 屋 別 稼 働 率	名称	相談室3			平日	79%	土日祝	98%
	午前	57%	午後	43%	夜間	20%	計	82%
	名称	会議室1			平日	69%	土日祝	58%
	午前	32%	午後	51%	夜間	16%	計	67%
	名称	研修室1			平日	58%	土日祝	66%
	午前	45%	午後	28%	夜間	10%	計	59%

## 6. 事業の実施状況

事 業 の 実 施 状 況	事業名	フォークダンスを楽しむ会	利用者数等	延 70 人
	事業内容	フォークダンス連盟公認指導士の指導で、4 月と 9 月にフォークダンスを行った。		
	事業名	折り紙を楽しむ会	利用者数等	延 20 人
	事業内容	看護職員の指導で、6 月と 1 月に季節の折り紙の作品を作った。		
	事業名	盆踊りおどろ舞	利用者数等	27 人と善意銀行 19 人
	事業内容	善意銀行のボランティアさんと一緒に来館者が盆踊りや鳴子踊りを楽しんだ。		
	事業名	転びにくい体づくりの会	利用者数等	27 人
	事業内容	健康運動指導士の指導で、体操やレクリエーションを行い頭と体を使った。		
	事業名	第 4 回 年忘れカラオケ発表会	利用者数等	75 人(歌唱者 22 人含)
	事業内容	事前に申し込みをされた 20 組の歌唱者に順番に歌ってもらう。今回はオープニングにフラダンスの披露も行った。		
	事業名	笑いで健康 笑いヨガ	利用者数等	28 人
	事業内容	笑いヨガリーダーを迎えて、いろいろな場面を想定して笑った。(笑いを通しての健康法)		
	事業名	高齢者のための防犯教室	利用者数等	34 人
	事業内容	まちづくり出前講座の長寿支援センターから来てもらい、高齢者を悪徳商法から守るための啓発として行った。		
特記事項				

## 7. 指定管理者制度導入前後の比較

項目	結果・詳細
サービス面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会館利用者のアンケートを実施して、サービス向上を図っている。</li> <li>・個別・緊急対応記録により情報を共有化</li> <li>・当番制で、受付窓口を充実</li> </ul>
コスト面	<ul style="list-style-type: none"> <li>・委託業務について、指名競争入札を徹底し、コスト削減に努めている。</li> </ul>

利用者数・稼働率	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年間:92,762人</li> <li>・稼働率:69%</li> </ul>
事業実施状況	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康教室の開催…6種類の教室を毎月1回開催した。</li> <li>・健康相談、及び、健康体操を年間を通じ実施した。</li> <li>・自主事業…フォークダンスを楽しむ会等、9種類の自主事業を開催した。</li> </ul>
地域との協働等	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ボランティアによる、南側花壇の整備が行われた。</li> <li>・玄関ロータリーの花壇について、加茂農林高校の協力が有った。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平成28年8月1日から、喫茶「むくの木」の運営を社協の直営とした。</li> </ul>